

大会実行委員として

神伝円心流 森内 一藏

春暖の四月二十八日、ウエスティン都ホテルに於いて、第七回武道
 実行委員会が行われ、第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭の大
 会役員会に続き、開会式リハーサルと準備を整え、いよいよ開会式が、
 本部はもとより海外からの多数の参加者のもと盛大に始まり、武徳会
 一二年の歴史の中で、大きな栄誉である、三笠宮の彬子女王殿下を
 迎え、日頃の功績を讃え、表彰を受けられた皆様に心よりお祝いを申
 上げます。

そして、記念祝宴会と前夜祭が催され様々な余興で懇親を深める内
 に結びとなりました。

翌、二十九日は、大会実行委員と今回特別に設置された管理運営委
 員の統括役を拝命し大会警備に当りました。

祓いの儀から始まり、国際部の演武・剣道・少年部模範演武と古武
 道演武そして納めの儀から表彰、閉会式と無事、盛會理に素晴らしい
 大会として終える事が出来ました。

本大会をはじめ、運営に携われた役員の方をはじめ事務局にお
 いても、大会までの準備にどれだけの時間と労力を使って奔走されて
 いるのか痛感させられました。

今後とも、諸先生方のご指導、ご鞭撻を賜ります様よろしく願ひ

申し上げますとともに、一般社団法人大日本武徳会の益々のご発展を
 ご祈念いたします。

第五回世界武徳祭 第五十四回全国武徳祭大会の 素晴らしい成果

上村 雅彦(宗誠)

「第五回世界武徳祭・第五十四回全国武徳祭」が誠に盛大に開催さ
 れ且つ無事終了できました事を大変喜ばしく思います。

今回の大会は例年の大会には見られない規模と内容でありましたの
 で、大会開催にご尽力されました本部の先生方や事務局の御努力たる
 や計り知れない事でありましたでしょう。本当にお疲れ様でした。

私共に忘れられない体験をさせて頂きました事を心から感謝申し上
 げます。

当日、私も大会実行委の一人としてお役を頂きましたのですが、誠
 に不十分でありましたことをお詫び申し上げます。

今大会の開催により「一般社団法人大日本武徳会」が武道の歴史に
 おける重要な団体である事を、世界中に先人の培ってこられた真の武
 道を伝えるべき大切な責務を果たして来られた確かな証として世界中
 に知らしめることが出来たのではないかと思います。

今大会を経て、不肖私も今後益々の行動を興し武道伝承に粉骨碎身、
 努力させて頂く所存であります。